

作業の前に必ずお読みください

部品交換・調整についてはお客様ご自身の責任のもと行ってください。

部品交換・調整に伴う事故や破損については、当社は一切の責任を負いかねます。

部品交換・調整手順が不明の場合は、バーツセンターホクセイまでお問い合わせください ☎ 077-621-0821

作業にあたって

部品を正しく交換していただくために、本説明書の内容をご理解いただき作業を行ってください。

部品取り付け用ねじを最後まで正しくしめつけてください。(不具合の原因となりますので、電動工具は使用しないでください。)
安全のため、安全上の注意事項にしたがって作業を行ってください。

安全上の注意事項

お願い

強風や大雨など悪天候時は、ドアが急に閉じる危険がありますので作業は行わないでください。

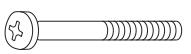
取りはずしや仮置きの際、傷をつけないよう床や部品をダンボール等で保護してください。

素手での作業は加工穴や部品のエッジ(とがった角)でけがをするおそれがあります。

軍手などの保護具を着用して作業を行ってください。

ドアを開けた状態で、必ずドアをストッパー等で固定して作業をお願いいたします。

同梱されているもの

交換用脱着サムターン	取付ねじ	部品交換要領書
HH-4K-13844A  1 個	 交換用脱着サムターン 取り付け用: 2本	 本書 1 枚

作業のために準備していただくもの

プラスドライバー	マイナスドライバー	ビニールテープなど
 1 本	 1 本	

※部品が全てそろっていることを確認してください。

※この交換用脱着サムターンは下部用です。

部品の取りはずし方

お願い

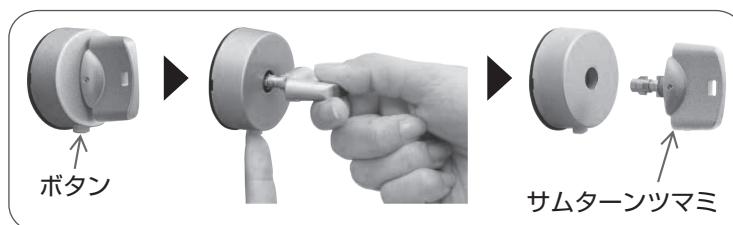
素手での作業は加工穴や部品のエッジ(とがった角)でけがをするおそれがあります。

軍手などの保護具を着用して作業を行ってください。

ドアを開けた状態で、必ずドアをストッパー等で固定して作業をお願いいたします。

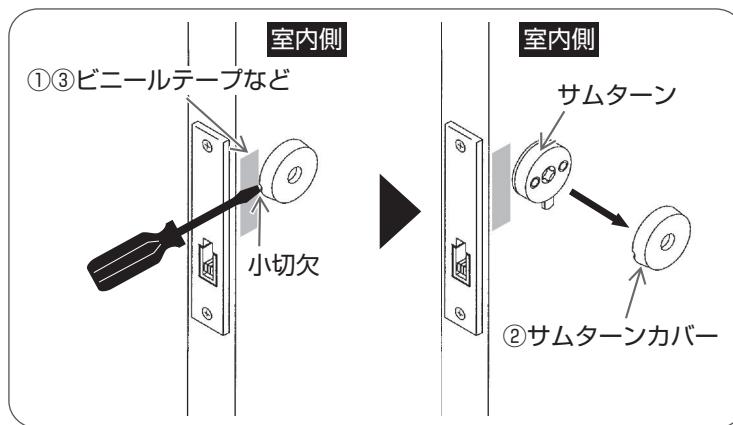
※この交換用脱着サムターンは下部用です。上部のサムターンとして使えませんのでご注意ください。

1 サムターンツマミの取りはずし



サムターン下側のボタンを押し、サムターンツマミを取りはずす。

2 サムターンカバーの取りはずし



①室内側よりサムターンカバーの小切欠側のドア表面にビニールテープなどを貼る。

※ドア表面にキズが付くのを防ぐ手順です。必ず行ってください。

②サムターンカバーの小切欠にマイナスドライバーを差し込み、サムターンカバーを少し浮かせてはずす。

③ビニールテープをはがす。

※部品の取り付け方は2・3ページをご覧ください。

部品の取りはずし方

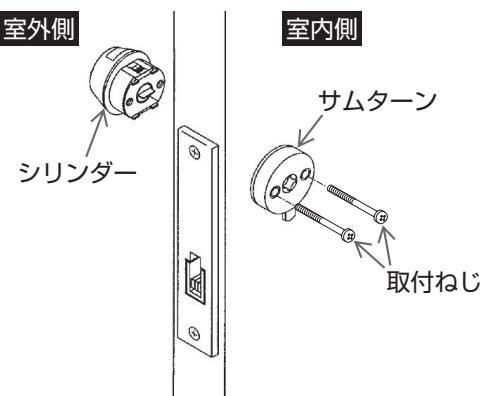
お願い

素手での作業は加工穴や部品のエッジ(とがった角)でけがをするおそれがあります。

軍手などの保護具を着用して作業を行ってください。

ドアを開けた状態で、必ずドアをストッパー等で固定して作業をお願いいたします。

2サムターンの取りはずし



室内側よりプラスドライバーでサムターンの取付ねじをはずし、サムターンをはずす。

※取付ねじをはずすと、室外側のシリンダーがはずれます。落下にご注意ください。

※取りはずしたシリンダーは取り付けの際使用しますので、なくさないでください。

※部品の取り付け方は2・3ページをご覧ください。

部品の取り付け方

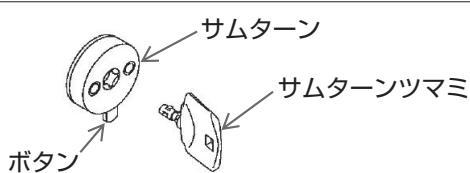
お願い

素手での作業は加工穴や部品のエッジ(とがった角)でけがをするおそれがあります。

軍手などの保護具を着用して作業を行ってください。

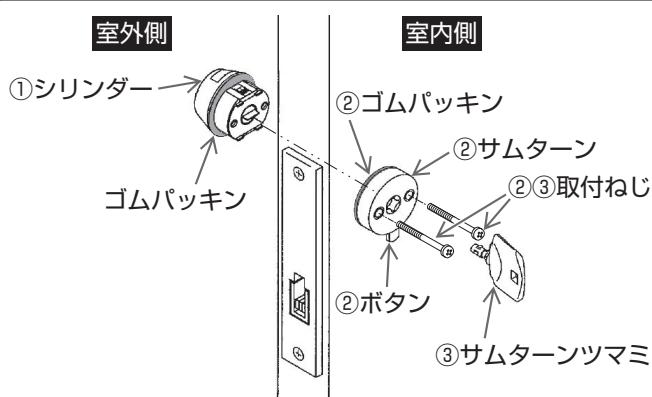
ドアを開けた状態で、必ずドアをストッパー等で固定して作業をお願いいたします。

1サムターンツマミの取りはずし



サムターン下側のボタンを押し、サムターンツマミを取りはずす。

2サムターンの取り付け



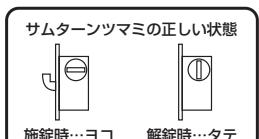
①シリンダーにゴムパッキンが付いていることを確認し、MIWAマークを上側にして室外側よりシリンダーを取り付け穴に差し込む。



②サムターンにゴムパッキンが付いていることを確認し、ボタンを下側にして室内側よりサムターンを取り付け穴に差し込み、プラスドライバーで取付ねじを仮止めする。

③サムターンツマミを施錠状態に合わせて(下図参照)差し込み、サムターンを数回動かし、動きのよいところで取付ねじをしめる。

※サムターンツマミはボタンを押さなくても差し込めます。



④サムターン下側のボタンを押し、サムターンツマミを取りはずす。

※部品の取り付け方は2・3ページをご覧ください。

部品の取り付け方

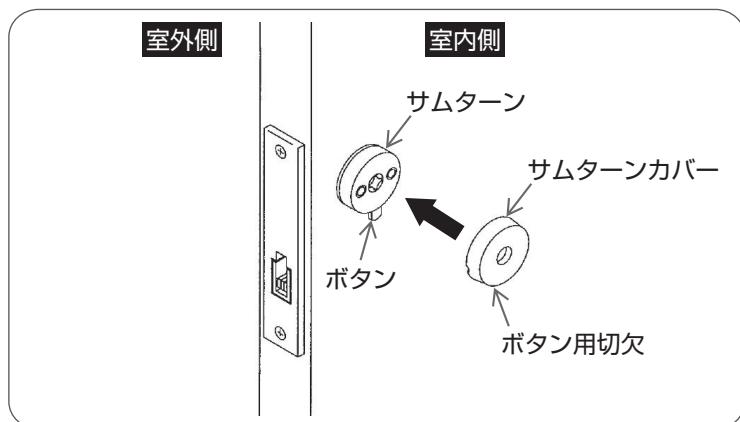
お願い

素手での作業は加工穴や部品のエッジ(とがった角)でけがをするおそれがあります。

軍手などの保護具を着用して作業を行ってください。

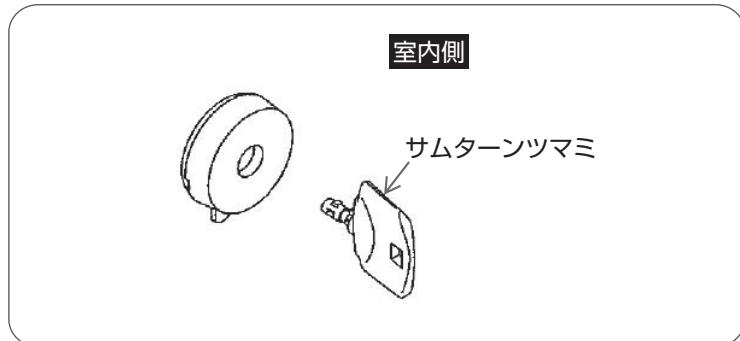
ドアを開けた状態で、必ずドアをストッパー等で固定して作業をお願いいたします。

2 サムターンカバーの取り付け



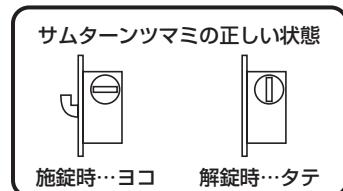
室内側よりサムターンカバーのボタン用切欠を下側にして、サムターンに取り付ける。

3 サムターンツマミの取り付け



室内側よりサムターンツマミを施錠状態に合わせて差し込む。

※サムターンツマミはボタンを押さなくても差し込めます。



部品の交換後のチェック



- ①部品にガタつきがないことを確認してください。
- ②取付ねじのしめつけすぎで部品が変形していないことを確認してください。
- ③錠に力ギを差し込み、施解錠ができるることを確認してください。
- ④サムターンをまわし、施解錠ができるることを確認してください。
- ⑤取付ねじを強くしめると、施解錠が固くなることがありますので、その場合は取付ねじのしめつけを調整してください。

※部品の取りはずし方は1・2ページをご覧ください。